

The Japanese
Society of
Practitioners for
Pediatric Dentistry

JSPP

【入会方法】JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。
年会費 10,000円、入会金 10,000円

新会長に就任して

JSPP会長

荻田 修二

(おぎた小児歯科、三重県桑名市開業)



5月のJSPP理事会、総会にて推挙され、JSPP会長に就任いたしました荻田でございます。初代の岡本誠先生から数えて8代目の会長ということになります。中部地区では神谷省吾先生に次いで2人目となります。

初代の会長の時より会員相互の親睦がメインという基本的な考え方は変わっておりません。また患者の転居などに伴う患者の紹介システムは以前より進化しつづけております。

そもそも小児歯科という特殊な診療は成長期にあたる小児が対象となるため、一般歯科ではなかなか難しいと思います。子どもをとり巻く様々な環境、それに伴う対応の仕方。むし歯もただ治せばよいというものではありません。その原因は何だったのか。食生活、おやつの問題、保護者の患児への対応、姿勢。また、むし歯にしないためにはどのような指導をしていけばよいのか、予防法にしても年齢に応じた処置、指導が必要になってきます。いかに初期の齲蝕を見つけ指導するかによって齲蝕の進行を抑制することができると思います。さらには顎の成長・発育についても年齢相応の発育をしているか、歯並び、噛みあわせなどの不正咬合に対してはどのように対処していけばよいのか、不正咬合を治療するにもどの時期に、どのように改善していけばよいのか、その方法は？。予防するにはどの時期にどのようなことに気をつければよいのか。永久歯が異常な位置に萌出してきた時にも、ただ乳歯を抜くというのではなく、どの時期にどのように乳歯を抜歯することで歯列不正にならなくて済むか。さらに、悪習癖に関してもどの段階でどのようにやめさせるように指導するか、不正咬合になってしまったものに対して、どのように対処(治療・指導)していけば

よいか。その悪習癖の原因の追及、対処の仕方は、保護者に対してかなりつっこんだ指導も必要になります。等々、数えあげたらきりがありません。それくらい小児歯科というのは奥の深い分野だと思えます。

このように小児歯科は大変難しく、内容も充実していますが、小さな子ども達と毎日楽しく過ごせる魅力ある診療科です。

JSPPはこのような子どもたちのことを一生懸命考えながら毎日仕事をしている小児歯科医、または歯科医の集まった会で、小児歯科専門医、認定医という先生方が多く会員になっておられます。小児の歯科治療のエキスパート集団であるにもかかわらず、一般の人々にはまだまだあまり知られておりません。全国的にJSPPの名前をアピールして知名度を上げたいと考えております。

子どもたちが保育園、幼稚園、小学校などの検診で異常があった場合、地域的に専門医などがいない場合には仕方がないと思いますが、出来ればぜひ小児歯科専門医、認定医、小児歯科に精通している歯科に連れて行ってほしいと願っております。とくにJSPPの会員のところへ、また全国各地に小児歯科の研究会、小児の事を一生懸命考えてくれている先生のもとへ子どもたちを連れて行ってほしいと思います。

また、JSPPには各種委員会があり大変頑張っておりますが、さらに充実させたいと考えております。

- 1) 小児歯科医療将来検討委員会
- 2) 広報委員会
- 3) H.P.担当委員会
- 4) 研究助成事業委員会
- 5) 「小児歯科臨床」編集協力委員会
- 6) JSPP ニュース編集委員会
- 7) 渉外委員会
- 8) 地域支援委員会

これからJSPPは小児歯科学会や小児科とのさらなるタイアップをはかり、吸収できるところはどんどん吸収し、スキルアップをはかりたいと思っております。

とにかく明るい小児歯科をめざして邁進していきます。